

概況

1 畜種別取扱高

平成8年中の東京都食肉市場における畜産物の総取扱高は、頭数46万5千余頭、重量8万7千余トン、金額976億5千余万円となっており、前年と比べ、頭数で4.1%、重量で1.8%減少したものの、金額では4.9%増となった。

畜種別にみると、牛の取扱高は、頭数14万2千余頭、重量6万余トン、金額842億3千余万円で、前年比は頭数で1.6%、重量で1.5%、金額で5.7%それぞれ増であった。

豚の取扱高は、頭数32万2千余頭、重量2万7千余トン、金額134億5百余万円となっており、前年比は頭数で6.4%、重量で8.2%、金額で0.2%それぞれ減であった。

(※参照 表1)

2 産地別取扱高

牛では、頭数、重量は、千葉県が2万3千余頭、8千8百余トンを出荷し、18年連続の第1位であったが、頭数は前年比で5.3%下回り、重量は4.4%減であった。また、千葉県の東京都食肉市場全体に占める割合(以下、この項において「構成割合」という。)は、頭数で16.2%、重量で14.7%に及んでいる。第2位の栃木県、第3位の宮城県は前年同様の順位で、ともに前年実績を上回っているが、とくに栃木県は頭数で13.7%、重量で11.9%増となり、第1位の千葉県との差が前年と比べなくなってきた。金額は、栃木県が120億余万円で2年連続第1位となり、構成割合は14.4%となっている。以上の三県に茨城県、岩手県を加えた「五県」の構成割合は、頭数で61.3%、重量で57.4%、金額で57.8%と全体の半数を超えている。輸入部分肉は、前年実績の重量で118.2%、金額で141.7%に増加した。また、オーストラリア、アメリカの2カ国の輸入重量は、全体の99.9%を占めている。

豚では、千葉県が頭数、重量、金額とも前年同様第1位となったが、前年と比べ頭数で0.2%減少し、重量、金額でそれぞれ0.1%、9.9%増加した。千葉県、茨城県、岩手県の上位「三県」の構成割合は、頭数68.4%、重量61.1%、金額58.7%と全体の半数を超えている。輸入部分肉は重量、金額とも前年比では大幅に減少した。

(※参照 表1~2)

3 年間市況

牛の全国取引頭数(成牛)は、138万6百余頭で対前年比7.6%減となっており、このうち東京都食肉市場の取引頭数は、14万2千余頭で全国取引頭数の10.3%を占めている。

東京都食肉市場における年間平均価格は、1kg当たり1,383円で、前年に比べ4.5%増(59円高)となっている。これを月別にみると、1月は1,342円と前年同月より25円安く始まったが、2月以降7月までは、1,300円台を推移し、その後も、10月までは前年同月比で上回り、11月で16円安の1,420円となったものの、12月で39円高の1,562円となった。年末需要の11月、12月を除くとほぼ1,300円台を推移しており、前年と比べ堅調であった。

豚の全国取引頭数は、前年比4.3%減の1685万1千余頭となっており、このうち、東京都食肉市場の取引頭数は、32万2千余頭で全国取引頭数の1.9%を占めている。

東京都食肉市場における年間平均価格は、1kg当たり478円で前年に比べ9.1%増(40円高)となっている。これを月別にみると、1月は438円と前年同月より66円高く始まり、引き続き2月以降10月までは前年同月比で上回り、7月に年間の最高値545円(前年同月と比べ10.3%増、51円高)を付けた。11月は一瞬値を落したものの、12月ではほぼ前年同月の価格となった。年間を通し平均価格は前年と比べ強含みで推移した。